

在宅医療アンケート調査報告
(多職種連携について必要なもの)

平成27年3月
大正区三師会懇親会

I 調査の概要

1、調査目的

在宅医療の推進のために、医師会、歯科医師会、薬剤師会に多職種連携に必要なものについて、現在の状況と充実するために必要と思われることの把握を目的にアンケートを実施した。

2、回収状況

医師会 9 名、歯科医師会 10 名、薬剤師会 5 名の計 24 名にアンケートを依頼した。

回収状況は、

医師会 7 名、歯科医師会 5 名、薬剤師会 4 名からの返答があった。

調査の結果

① 多職種連携の現状

	医師	歯科医師	薬剤師	合計
十分に図られている	0	0	0	0
概ね図られている	6	1	3	10
ほとんど図られていない	1	4	1	6
全く図られていない	0	0	0	0

② 連携が図られていない、又は連携をとっていきたいと考えている職種

	医師会	歯科医師	薬剤師	合計
医師間	1	3	2	6
歯科医師	3	2	2	7
薬剤師	3	0	2	5
MSW	3	0	3	6
ケアマネ	2	3	3	8
訪問看護	1	3	3	7
訪問介護	2	2	2	6
包括	1	1	2	4

*その他の意見

○医師会

- ・MSW とあまりあわない

○歯科医師会

- ・どの職種も連携する窓口を明確にして活動しやすくしてはどうか。

○薬剤師会

- ・実際に在宅を依頼されたら、必要に応じて連携せざるを得ないのではないかと
思う。
- ・地域包括支援センターはよく耳にするが、イメージがわからない。

③ 連携をとるために必要だと思うこと

	医師会	歯科医師会	薬剤師会	合計
顔の見える関係作り	6	3	3	12
役割分担の明確化	2	4	2	8

*その他の意見

○医師会

- ・FAX でやりとりする。

○歯科医師会

- ・何を具体的に取り組むべきか優先すべきことを教えてほしい。

④ 連携についてのご意見

○医師会

- ・薬情報や内服状況等をリアルタイムで情報共有できればいいと思う。
- ・端末機等を使った SMS を利用してのコミュニケーションを。
- ・皆が集まっての会議をしたいが、なかなか時間がとれない。
- ・近くの歯科医、薬剤師を充分知らない。

○歯科医師会

- ・歯科では、機械器具の関係で在宅医療で出来ることが限られてきます。連携してどこまで歯科が求められるのか教えてほしい。
- ・胃ろうや経管栄養の患者さんご家族の方から少しでも口から食べさせてあげたいとよく相談される。
- ・在宅では、口に問題があっても歯科には結びつかないように思う。訪問している職種の方に歯科を紹介してもらいたい。積極的に出たいと思わないが困っている人がいたら大きな機材を持ってでも診療所からでなければと思う。

○薬剤師会

- ・関西電力病院では、薬薬連携として抗がん剤投与計画、検査結果、備考、疑義照会返信用紙を FAX 送信して薬局間での連携を取り合っていた。必要なら電話・FAX のみの利用だけでも連携が取れるのではないか。各職種間の連携雛形又は、共通の雛形があれば、スムーズに行くと考える。
- ・多職種間の情報共有が出来るように努力していきたい。